



なるほどね！ CPMとベクレルは関係しているのね。

GMサーベイメータは、初期の対応では、衣服に付いた量から空気中濃度を推計し、そこから吸入した放射性物質の量を推測するために使うことが想定されていました。
現在、使われている測定用機器を見てみましょう！



放射線測定用機器

● 端窓型のGM管式サーベイメータ (ガイガーカウンター)



近くにある放射性物質の量を調べる

放射線検出器の窓が薄いタイプのGM型サーベイメータは、ベータ線を検出するのが得意です。近くにある放射性セシウムを調べることができます。

● シンチレーション式 サーベイメータ



空間線量率を測る

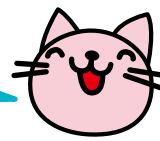
シンチレーション式サーベイメータは、ガンマ線を検出するのが得意です。空間線量率は、広い範囲からの放射性セシウムからのガンマ線によります。

トリチウムの測定について



トリチウムは測るのが難しいと聞きました。

濃度が低いので、トリチウムを濃縮してベータ線を測っているよ。



海域における強化モニタリングの結果(福島第一原子力発電所周辺)

福島復興ステーションHP

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所周辺海域におけるモニタリングを強化し、トリチウムも計測しています。



平成26年12月のトリチウム(海水)

平成26年12月26日 福島県放射線監視室

	採取地点名	海水のトリチウム濃度(Bq/L)			事故前の値
		平成26年度		平成25年度	
		12月8日	4～11月分		
1	第一(発)南放水口付近	不検出	不検出～0.51	不検出～2.4	不検出～2.9
2	// 北放水口付近	不検出	不検出～2.5	不検出～2.5	
3	// 取水口付近	不検出	不検出～2.6	不検出～6.2	
4	// 沖合2km	不検出	不検出～0.43	不検出～0.58	
5	夫沢・熊川沖2km	不検出	不検出	不検出～0.53	
6	前田川沖2km	不検出	不検出～0.91	不検出～0.58	

検出限界は概ね0.4Bq/L



▶ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/list272-851.html>